

宇津木台 森遊会 実施報告

「第11回定例活動」

No.2017-11

実施日	2018年2月25日(日) 10:00~13:00	天候：曇り	記録：金森
場所	宇津木台緑地(八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者：6名(男性4、女性2) 矢島、田原、竹原、吉川、中村(弘) 中野 インストラクター：金森		

実施内容

活動7年目の第十一回目。1月23日未明の大雪はすっかり融けている。3-4月の活動は森のコンサートや筍の駆除を予定するため、5月頃から野鳥が使い始める巣箱について、このタイミングで巣箱の中に残っている巣材を掃除する。

緑地内に取り付けてある12個の巣箱を清掃する ほぼ全てで巣材が確認できた。巣箱以外でも雑木林に落ちている巣や木の上に作られたカラスの巣を発見した。

巣箱の半分(6個)は5年が経過しており、傷んでいるものがあり補修する。また、ここ2年は巣箱の穴を大きくする野鳥(突つくのが得意な野鳥)がいるようだが巣箱としてはきちんと使われているので、穴の大きさは補修せずに自然に任せることにする。

この寒い時期に定番となっている餅と栗を入れたお汁粉で体を温めて解散とした。

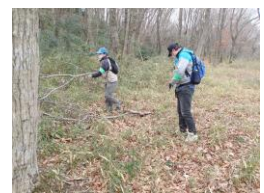


緑地内に取り付けてある12個の巣箱を清掃する ほぼ全てで巣材が確認できた 巣箱以外でも落ちている円形の巣を発見



巣箱によっては5年が経って傷んでいるものがあり補修する

突つくのが得意な野鳥がいるよう巣箱の穴が大きくなっている



脚立からの眺め

針金が切れているものは補修する 雪で折れて落下した枝を片付ける



お汁粉作り開始 栗を入れる

七輪で餅を焼く

ダッチオーブンでのお汁粉は如何に? 美味でした

連絡事項 ・怪我、ヒヤリハットなし。 ・ボランティア袋は発生なし。(少量のゴミのため、次回へ持ち越し)